

防衛講演会



講師 宇都 隆史 氏

日時 令和2年10月11日

場所 岡山市（アークホテル岡山）

演題 「米中戦争の狭間をいかに生きぬくか？」

(要 旨)

I 力による現状変更を試みる中国

- 中国は経済的にも国力の無い貧しい国であった。
- 登小平の方針として「力を貯える政策を取る」
- 2008年北京オリンピックから力をつけてきた。
- 習近平は国力（お金）に物を言わせ、国際機関の長を取ることに力を入れている。…WHO等々
- 一帯一路構想で後進国のインフラ整備して、支払いできない国には港湾設備等を軍が使っている。
中国は国力に物を言わせ世界を牛耳ようとしている。

II 米国を中心とした中国包囲網

- しかし中国との融和政策を取ったのはアメリカ、ニクソン大統領が発端、日本もそれに倣った。（台湾を捨てて）
歴代アメリカ大統領には中国との融和政策がある。トランプも最初はそうであった。
- しかし、世界は今中国に警戒心が出てきている。
 - ① ホンコン問題…特にヨーロッパ
 - ② コロナウイルス
- 7月23日ニクソン大統領の融和政策はまちがっていたと、ポンペオ補佐官が演説（ホワイトハウスで）これが転機となった。
- その様ななか今回の4大臣会合は意味があった。
* 今回の安倍首相の退陣は世界でもショックだった。
今後は世界と歩調を合わせて中国政策を行う。

Ⅲ 我が国を取り巻く安全保障情勢

- 中国は菅政権の様子見。
- イージスアショア等ミサイル防護施設は設置すべき。
 - *これは米軍を日本に留めて置くことになる。
 - *設置のリスクは十分に住民説明し納得してもらうこと。
- 敵基地攻撃は非常に難しい～今は移動式発射のため。
- ミサイルの発射は北朝鮮だけではない。
中国は 100 発/年の訓練をおこなっている。

Ⅳ 令和 3 年度の防衛予算（概算要求）について

- 要求額 54,897 億円（前年比 4,210 億アップ）
- 実員の増員要求 1,569 人（陸+956 海+248 空+223 統+142）昨年+641
- 自衛隊の魅力化（女性用トイレ・浴室整備、人気満了隊員の進学支援、託児施設の拡充）
- 自衛官募集チャンネル YouTube の ソレ誤解ですから を見てほしい。